

令和6(2024)年度入試 関連行事 開催予定表

静岡学園の良さを感じるチャンスです。
皆さん、是非参加して、静岡学園を体感して下さい。

個別相談
随時承ります
詳しくはHPから

お問い合わせ、
エントリーは、
HPで。



区分	行事名	開催日(2023年)	開始時間	会場	申込開始日		
静岡学園中学校	体験会	第1回一日体験入学	7月29日(土)	9:00、11:20	本校	7月8日(土)~	
	体験会	第2回一日体験入学	8月26日(土)	9:00、11:20	本校	8月5日(土)~	
	体験会	SGT・文化部体験会	10月14日(土)	9:00	本校	10月1日(日)17時~	
	相談会(小6対象)	随時受付の個別相談	5月~12月 平日・指定土曜日	平日9:00~最終16:30 土曜9:00~最終11:30	本校	5月20日(土)~	
		個別相談会	6月3日(土)	9:00(静学祭開催中)	本校	5月20日(土)~	
		静岡県中部地区 私立中学校フェア	6月17日(土)	未定(昨年は3部制)	グランシップ	外部専用サイトより申込開始日未定	
		本校見学会		9:30	本校	5月27日(土)~	
		個別相談会	7月29日(土)	13:00(第1回体験入学終了後)	本校	7月8日(土)~	
		個別相談会	8月26日(土)	13:00(第2回体験入学終了後)	本校	8月5日(土)~	
		静岡県中部地区 私学展	10月1日(日)	未定(昨年は4部制)	グランシップ	外部専用サイトより申込開始日未定	
個別相談会		10月4日(水)	17:00	藤枝(藤枝駅前BiViキャン)	9月23日(土)~		
		10月14日(土)	9:00(SGT・文化部体験会開催中)	本校	10月1日(日)17時~		
		11月18日(土)	9:00	本校	11月4日(土)~		
静岡学園高等学校	体験会	第1回一日体験入学	7月29日(土)	9:00、11:20、13:40	本校	7月8日(土)~	
	体験会	第2回一日体験入学	8月26日(土)	9:00、11:20、13:40	本校	8月5日(土)~	
	体験会	第3回一日体験入学	10月14日(土)	9:00、11:20	本校	10月1日(日)17時~	
	入試説明会	12月9日(土)	9:00、11:00	本校	11月18日(土)~		
	相談会(中3対象)	随時受付の個別相談	5月~12月 平日・指定土曜日	平日9:00~最終16:30 土曜9:00~最終11:30	本校	5月20日(土)~	
		静岡県中部地区 私学展	10月1日(日)	未定(昨年は4部制)	グランシップ	外部専用サイトより申込開始日未定	
		個別相談会		10月4日(水)	17:00	藤枝(藤枝駅前BiViキャン)	9月23日(土)~
				12月2日(土)	9:00	本校	11月18日(土)~
				12月9日(土)	10:20、12:00(入試説明会終了後)	本校	
				12月16日(土)	9:00	本校	

令和6年度からは、制服を新しくする予定で準備を進めております。
6月3日(土)の静学祭(文化祭)では、来場者に投票を実施し、お好みの制服案を教えてください。ご来校のうえ、是非、投票をお願いいたします。

令和5年度の年間行事予定

※年間行事予定は諸事情により変更になる場合がございます。

● 中高共通 ● 中学 ● 高校

SGT SHIZUGAKU GOLDEN TIME

4月

- 始業式・着任式 ● 入学式
- 避難訓練 ● 健康診断 ● 遠足
- 薬学講座(中学)
- スタディサポート講演会(高1・2)

10月

- 授業公開週間 ● 小論文講座(高2)
- 体育祭
- 静岡県立大学見学会(高2)

5月

- 授業公開週間 ● 保護者会
- キャリアガイダンス(高1) ● 小論文講座(高2)
- 校内合同大学説明会(高3) ● 開校記念式典

11月

- futureしずおか(高1) ● 芸術鑑賞
- 期末試験 ● 修学旅行(中3)
- 修学旅行(高2)

6月

- 静学祭 ● 生徒会役員選挙 ● 1学期定期試験
- 保護者対象進路講演会(高3) ● 球技大会(高3)
- 水泳教室(中1・2)

12月

- 広島平和学習(中1) ● 保護者会
- 保護者対象進路講演会(高2) ● 終業式
- 特別授業 ● 冬休み

7月

- 生徒会役員任命式 ● 面接週間 ● 終業式
- 特別授業 ● ネット依存トラブル対策生徒向け講座
- 思春期講座(中3)
- 熱中症予防教室(高校) ● 薬学講座(高校)

1月

- 始業式 ● かるた大会(中1・2)
- お茶会(中3)

2月

- 高3担任による進路講座(高2)
- 学年末試験 ● 課外活動(中1・2)

8月

- 夏休み ● 特別授業 ● 始業式
- English Camp(中学)
- R-Cap(高1) ● 静岡大説明会 ● 文芸大説明会

3月

- 卒業式
- 球技大会・学年別防災訓練(中学・高1・2)
- 保護者会 ● 終業式・離任式 ● 特別講習

9月

- 生徒総会 ● スタディサポート&進路講演会(高1・2)
- 新体力テスト ● 中間試験 ● 受験用写真撮影(高3)

「孝友」第235号(令和5年5月20日発行)
 発行者 学校法人 新静岡学園 静岡学園中学校・高等学校校長 鈴木啓之
 題 字 渡邊貴彦(毎日書道展審査員)
 編 集 孝友編集委員会 デザイン制作 株式会社アロマイメージ



孝友

人格という土台の上に

真の教養を創造したい者は

この門から入れ

235

令和5年(2023年)|春号

～新しい飛躍のスタートに～

コロナ過の中で教育活動を終えた令和4年度を振り返り「孝友第235号」を皆様にお届けします。授業、学校行事、部活動等の実施形態の見直しや代替え、そして新たな工夫を積み重ねて、静学は、また1年歴史を積み重ねました。昨年を振り返ると、今回、特集としてまとめた『上野千鶴子』氏との関わりがありました。昨年5月の開校記念講演「君たちを待っているのはどんな社会か」が大きなインパクトを生徒・教職員に与え、2月の特別SGT「帰ってきた上野千鶴子先生」に繋がりました。現在、校長室には上野氏からの「ノイズを立てよう」と揮毫された色紙が来訪者を迎えています。

こうした中で、昨年度、静学は新たな飛躍の一步を踏み出しました。まず、昨年7月に図書館棟3階に多目的教室を竣工し、利用を開始しました。富士山の眺望、外デッキとの繋がりを重視した開放感ある空間。他の教室にはない特徴を有した施設となっています。また、本年2月には教育棟とグラウンドの間にヒロティ形式の1階建て3普通教室の校舎増築も完成し、4月より使用を開始しています。益々の教育環境充実となりました。

教育活動としても新しく幾つかの事業を立ち上げました。中学1、2年生対象とした地域と学校と企業等の関係を探る「シツクリ活動」や将来に『静学SEL(Social Emotional Learning)』の構築を目指した「レジリエンス講座」等です。一人一台PCの実現に繋がる中学生へのiPad貸与、ニュージーランド優秀生徒派遣研修再開、令和5年度からの高1生のChromebook活用授業スタートと事業目白押しです。このチャレンジがどう花開き実を結んでいくのかを生徒諸君・教職員には協働して創りあげる気持ちを持ち、同窓生や地域の方々にはぜひ見守っていただきたいと考えています。よろしくお願ひします。



静岡学園中学校・高等学校
校長 鈴木 啓之

特集

第57回 静岡学園中学校・高等学校

開校記念式 記念講演

上野千鶴子先生の

襲来

講師 東京大学名誉教授 認定NPO法人WAN理事長 上野千鶴子 氏

keyword
加害者にも
被害者にも
傍観者にも
ならないで欲しい。

keyword
笑いは共犯、
沈黙は同意。

keyword
(女は)男に
なりたいた訳
じゃない。

keyword
こんな(生きづらい)
世の中を引き継がせて
ごめんなさい。

keyword
なんでやん

keyword
おっさん粘土層

keyword
弱者が弱者のまま
尊重される社会で
あって欲しい

keyword
私たちが(世の中を)
変えてきました。
(だから、あなたたちも
変えることができる)

keyword
仲間と共に問題に
立ち向かう/
共闘できる仲間を
つくる。



「君たちを待っているのはどんな社会か」
お母さんのようにには生きられない」
WAN理事長 上野千鶴子先生

SGT教養講座 上野千鶴子先生とズームで繋がる

帰って来た 上野千鶴子先生



目次

在校生及び受験生に向けた校長挨拶	01
特集/上野千鶴子先生の襲来	02-03
中1～中3の1年間の活動記録	04-05
高1年部 高1年の1年間の活動記録	06
高2年部 高2年の1年間の活動記録	07

高3年部 卒業生に聞きました!	08
合格体験記 進路の実績	09
部活動の実績	10
同窓会より	11
年間学校行事(予定)	12

上野千鶴子先生の 襲来



後藤さくら撮影

1

令和3年9月21日(火)、それは、一通の手紙から始まった



2

事前学習として、「平成31年度 東京大学学部入学式 祝辞」を視聴する

令和4年5月7日(土)、事前学習では、フェミニズムと上野千鶴子先生の足跡を学び、「平成31年度 東京大学学部入学式 祝辞」を視聴する



YouTube

平成31年東京大学入学式 上野千鶴子先生の祝辞

3

令和4年5月27日(金) 開校記念講演を拝聴して

演題

君たちを待っているのはどんな社会か ～もうお父さん、お母さんのようには生きられない

講師

東京大学名誉教授 認定NPO法人WAN理事長 上野千鶴子 氏



感想

男らしく、女らしくではなく、自分らしく生きようと思った。

感想

佇まいがかっこいいです。

感想

違和感を感じたことは、「わきまえず」意見を言おうと思った。

感想

ノイズを拾う人間になりたい。

感想

少子化はある種の女性差別が原因、という視点に驚いた。

感想

フェミニズムは、「男性になりたい訳じゃない」には納得させられた。

感想

「なんでやん」を連発して常に問い続ける姿勢が素晴らしいと思った。

感想

本物のフェミニストと、ツイフェミとの違いがよく分かった。

感想

女性の社会参加と、生産性の向上に相関関係があるのか調べてみたいと思った。

感想

上野先生の赤髪が素敵。

感想

家では、女子だから浪人させないなどと言われてきたけど、自分の将来は自分で決めようと思った。

感想

「わきまえる女は可愛い」などという世の中に蔓延る風土を、他人にしないで、仲間を作りながら、立ち向かおうと思った。



井ノ口さん
甘と男
社会を学ぶ
2022.5.27
上野千鶴子

イズミ
えてよう
上野千鶴子
2022.5.27

4 SGT 教養講座 帰って来た上野千鶴子先生

令和5年2月10日(金) 上野千鶴子先生とズームで繋がる



上野先生こんにちは
静岡学園高等学校2年の青野るいです。
先日の座談会では、我々の投げかけた話題ひとつひとつに真摯に向き合っていたので、本当にありがとうございました。先生の論理的で明快なお言葉に終始ハッとさせられてばかりでした。
わたしは先生の母校である京都大学を目指しています(まだまだ、実力不足ではありますが、)。いろいろなことに興味がありすぎて、まだ自分が何を専攻すべきか決まっていませんが、大学での学びを何からの形で社会に還元していきたいという思いは中学時代からずっと変わりません。今回こうして、上野千鶴子先生という偉大な学者と直接お話できたことは、この思いをより強めることとなりました。またご縁がありましたら、ぜひお会いしたいです。
改めて、有意義な時間をもたらせていただき、誠にありがとうございました。一生の思い出です。(2年 青野るい)

上野先生
今回は私たちの質問に答えて頂き、また議論にも参加して頂き本当にありがとうございました。
記念講演で上野先生がおっしゃっていたノイズを探すということ。今回参加した5人でそれぞれの話し合いをした時、少し離れた話題でも身近なものに置き換えて議論することや、1つ1つ例を挙げて考えることの大切さを知りました。最後の感想で青野るいさんが言っていたように、持ってきたテーマがバラバラであってもその考えた先には同じものに通ずるような気がしました。ジェンダーについてだけでなく、社会学という大きな枠組みで学ばれている上野先生と意見を交わせたこと、とても面白かったです。討論の進行がスムーズにいかず上野先生にリードしていただいたことも何度もありましたが、聞きたかったことを聞けてすっきりしています。上野先生とお話出来る貴重な機会であり、私個人、緊張していた面も多くなりましたが自分の意見を伝え対話していくうちにこの会を楽しむことができたと思います。今回はこのように少し改まった場での話し合いでしたが、次は友人ともう少しラフにしてみるのも面白そうだなとも思いました。
上野先生、貴重なお時間を2時間も頂き本当にありがとうございました。またご縁がありましたら、どこかでお会い出来ることを楽しみにしています。(2年 横井香奈)

上野先生、先日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。
非常に考えさせられるお話でしたが、頭をフルに使った割には楽しさが残りました。また機会があればよろしくお願いします。(2年 渡邊直樹)

こんにちは。話し合いでは真ん中に座っていた伊藤です。
先日は、私たち5人とのいろいろなテーマの話し合いありがとうございました！
当日は緊張してしまって自分のテーマの時とか上手く話せなかったけれど、上野先生が言葉が出てくるまでゆっくり待ってくださったので、安心して話すことが出来ました。
話し合いを通して自分の身の回りの事でも知らないことが多いなって思いました。何かを変えたい、変えようとするときに、自分が出来ることを考えていきたいなと考えました。
また、誰かと意見が合わなかつたり誰かの意見に疑問を感じたときは勇気を持って言葉にして、対話を試みたいと思いました。
みなさんと話し合いに参加することが出来てとても貴重な時間を過ごすことが出来ました。またいつか上野先生に会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。(2年 伊藤優月)

5 静岡学園中学校・高等学校 図書館 図書100選

図書100選 改訂3版にも上野千鶴子先生の著書が載っています。



上野先生の著書



最後の講義 完全版
これからの時代を生きるあなたへ
安心して弱者になれる社会をつくりたい
上野千鶴子 主婦の友社 2022/2/21

学びのきほん
フェミニズムが
ひらいた道
上野千鶴子 NHK出版 2022/4/25

中1～中3の1年間の活動の記録

私たち若い世代が担う役割

平和学習「百目」、原爆ドームや平和公園に行き、平和講話を受け、平和について考えました。

現在では、自然が豊かでたくさんの方々が立ち並ぶ広島。現在の様子からは想像できない悲惨な過去が広島にはありました。

一九四五年八月六日、広島に原爆が落とされました。多くの人が命を落とし、街も荒れ果てました。原爆から逃れた人々も、放射線からは逃れられず、家族を亡くした苦しみに加え、被爆の後遺症にとっても苦しんでます。

世界にはまだ、核兵器を所持している国があります。被爆者を何重にも苦しめる核兵器はこの世界に必要なものではないと思います。

街の様子だけでなく、人々の生活も大きく変えた戦争。こんなにもおそろしい戦争を二度と起こさないためには、私たち若い世代が核兵器のない平和な世界を造っていく取り組みを担っていくかなければいけないと思います。

クラスのみんなで作った千羽づつを奉納したり、いろいろな場所をめぐるたりして、過去や他国のことではなかった戦争について知ることができ、よい研修になりました。(二年 佐藤 優愛)

富士のふもとでの遠足

今日は、中学校初の遠足で、富士山のふもとにあるぐりんばという遊園地に行きました。バスの中では、友達と話したり歌ったりして、とても楽しい時間でした。ぐりんばに到着すると、目の前に富士山が大きくそびえ立っていました。僕は北海道から来て、富士山を見るだけでもすごいことなのに、こんなに身近に富士山を見ることができ、とてもおどろきました。ぐりんばは、静岡学園の貸し切りでしたが、乗り物は、乗れませんでした。そのかわり、係の方が考えてくれたチーム対抗のレクができて、みんなとの仲が深まりました。そして昼食を食べた後は、午前のレクの振り返りをし、発表の時間には質問がとびかいました。振り返りの時間を終えた後は、富士山をバックに記念撮影をしました。そしてバスに乗り込んで、ぐりんばを後にしました。

今回の遠足で、屋外での行動の仕方を学ぶことができた。友達との仲を深めることができた。とても思い出に残る遠足となりました。(二年 上野 翔太郎)



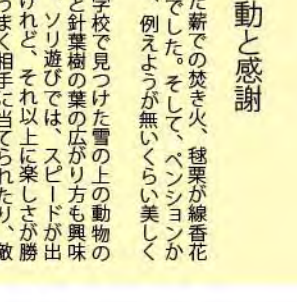
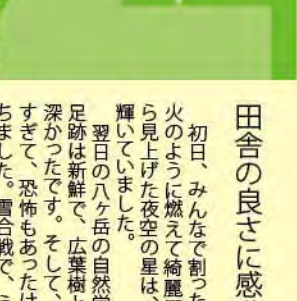
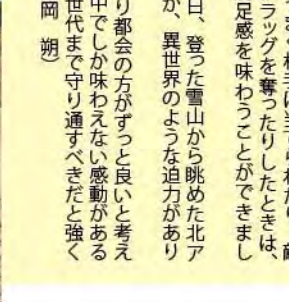
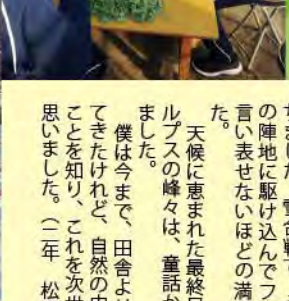
シツクリ



中1 広島平和学習



中2 自然体験教室



中2 遠足

田舎の良さに感動と感謝

初日、みんなで割った薪での焚き火、穂粟が線香花火のように燃えて綺麗でした。そして、ベンションから見上げた夜空の星は、例えようが無いくらい美しく輝いていました。

翌日の八ヶ岳の自然学校で見つけた雪の上の動物の足跡は新鮮で、広葉樹と針葉樹の葉の広がり方も興味深かったです。そして、ソリ遊びでは、スピードが出すぎて、恐怖もあったけれど、それ以上に楽しさが勝ちました。雪合戦で、うまく相手に当てられず、敵の陣地に駆け込んでフラッグを奪ったりしたときは、言い表せないほどの満足感を味わうことができました。

天候に恵まれた最終日、登った雪山から眺めた北アルプスの峰々は、童話か、異世界のような迫力がありました。僕は今まで、田舎より都会の方がずっと良いと考えてきたけれど、自然の中でしか味わえない感動があることを知り、これを次世代まで守り通すべきだと強く思いました。(二年 松岡 朔)



中3 遠足



中3 修学旅行



体育祭



イングリッシュキャンプ

3年

三年間を振り返って

二〇二〇年、コロナ禍で始まった静謐生活。授業はリモートで行った。殆どが初めての事。授業直接話すことが出来なかった。コロナは中二でも収束しなかった。

多くのことが制限され、また多くの行事も中止となった。それでも中二では広島、中一では岐阜、さらに中三では修学旅行で関西にも行くことが出来た。コロナ禍でもこのような経験が出来たことは感謝でしかない。特に中三の修学旅行ではハワイに行けず、沖縄に行く案も出ていたが行けず、関西になった。万全の対策をして行った三泊四日。ハワイこそ行くことが出来なかったが先生方が必死になって僕たちの修学旅行のプランを立ててくれたことは忘れられないと思う。(三年 白井那由汰)

修学旅行で学ぶ世界

四日間の修学旅行を通して、僕は普段体験出来ない様々な世界を訪れることが出来た。

一日目、二日目の奈良、京都の研修では、様々な神社仏閣へ赴いた。望々とそびえ立つ巨大な建築物の姿は圧巻で、再建されたものもあるものの、本当にこれが数百年、千年以上前に建てられたのだらうかと驚く程であった。奈良や京都では、街の中に数々の歴史的建造物が残されている。他県では中々見れない光景だ。そのため、研修中は常に歴史に触れることになった。また、景観法に基づいて、街の自販機やコンビニ、その他の建物は雰囲気や壊さないように、主に茶色に染められている。それらが相まって、二県にいながら、僕はまるで大昔にタイムスリップした様な感覚になった。

三日目は、ユニバーサルスタジオ・ジャパンの研修だった。僕は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの魅力は何と言っても、細部までこだわり抜かれた世界観の演出にあると思う。ユニバーサル・スタジオ・ジャパンには、その性質上、様々な作品が混在することとなる。が、パーク内では互いの作品が互いを干渉せず、それぞれの作品の世界へ十分に没入することが出来る。また、没入感をきわ立たせるための工夫やこだわりが数多く感じられ、感心してしまう程であった。

四日目は、大阪市街の研修だった。そこは、僕が普段暮らしている市街の姿とは全く別物であった。街の至るところを装飾しているカラフルな看板やオブジェ。たくさんの人々をにぎわせる出店。静岡では見ることの出来ない光景だ。東京などの他の市街を訪れたこともあるが、それともまた違う別世界であった。一くくり「都会」と言っても、様々な形、特徴があるのだと分かった。四日間を通して、僕は様々な世界を体験し、そこから数々のものを学び、楽しんだ。非常に有意義で、濃い研修旅行だったと思う。(三年 片瀬理月)

自然体験学習で学んだこと

僕は長野県茅野市で自然体験学習を行い、一日目の農業体験で有機農法について学んだ。有機農法とは、化学肥料を使わずに行う農業のことだ。実際に、米ぬかを田んぼに撒いてみると、米ぬかが固まっていたり、服が米ぬかまみれになったり、かなりの重労働だった。しかし、環境にやさしく、米価が高いなどのメリットがあること知り、少し高価でも有機農法で作られたものを買いたいと思った。

また、自然体験学習を通して、雪とともに生きる生活の大変さを知ることができた。雪があると、生活がガラリと変わった。地面に雪が積もっていたり、路面が凍っていたりして危なかったが、同時に雪は美しい景色にもなった。大変なことだったが、それ以上に生活の中に雪があることに大きな魅力を感じた。

このように、僕は自然体験学習で静岡では体験できないことをたくさん経験し、どの活動も楽しかった。学んだことを、今後の生活にも生かしていきたい。(二年 阿南 龍之介)

課外活動に参加して

私はいつも何かに追われている。課題や部活、テストにも緑風塾のプレゼンテーションにも追われ、こうして今も作文に追われている。こんな私に追うことができるものなんてバスケットボールが将来の夢くらいだろう。そこで私はこの一年、将来の夢を実現させるために、自分自身が興味を持っている業学に関する講座に積極的に参加した。SGTの「製薬会社の人の話を聞こう」で薬科学部の大学院に通う本校OGの先輩の話を聞いたり、「トキメキ☆サイエンス」というプログラムに参加し、静岡大学理学部教授のオートファジーについての講座を受講し、高校生活の中では触らないような器具を使って実験をさせてもらったりした。校外に出て、これらの講義を直接受け、私は研究職に興味があることに気がついた。更にそれらの講義の中で、大学受験のコツや、大学・研究室などの仕組みを現役大学生から直接教えてもらうことが出来た。来年度は夢を実現するために今までより一層努力を重ねていきたい。(3組 海野陽香 静岡学園中)



新しい出会いの中で

私はこの静学で様々な新しい出会いがありました。静学での一年は、中学での一年と比べると学ぶこと、楽しいこと、経験することなどの全てが新しく新鮮でした。勉強する内容は中学よりも詳しく、新しい知識は無論のこと、新しいことを学ぶ楽しさに出会いました。分からないことも先生方が丁寧に教えてくださるため楽しみながら理解することができます。部活動は、私の中学にはなかった百人一首部と合唱部を兼部しています。高校から新しい競技や、活動を始めるのは不安でしたが、新たな世界に触れ共に切磋琢磨できる仲間との出会いがありました。SGTでは、柵田での活動や裁判員制度、色彩心理についてなど、新しい経験をしました。その中に自分が新しく好きなもの、新しい価値観、新しい学問との出会いがあります。私は、これらの新しい出会いを通して大きく成長することができました。二年生になっても新しい出会いを大切に過ごしたいと思います。(6組 水野絢音 静岡市立高松中)



成長した1年

私は、この1年間、卓球を通して、とても成長する事ができました。静岡学園に入学して、チームの一員として頑張ろうと新たな自覚が生まれました。同級生の強さ、そして、先輩たちの技術のレベルの高さや集中力に驚かされ、先輩たちのように強くなりたいと思い、日々の練習を頑張りました。今までは辛くなったら棄をしていたけれど、最後まで集中して練習できるようになりました。

特に私が成長したと感じたのは、全国大会の時です。団体戦の準々決勝で5番に出場しました。自分の勝敗がチームの勝敗に繋がるととても大事な場面で、私はとても緊張していました。惜しくも負けてしまったけれど、自分らしいプレーをする事ができました。中学時代の私だったら、怖くて自分のプレーができていなかったと思います。この1年間で、沢山成長する事ができました。

来年度は、私がチームを引っ張って行って、チームとして成長して、良い成績を残せるようにしたいです。(9組 福光凌大 蒲郡市立大塚中)



仲間と目標

私は高校生活の中で明確な将来を見つけることを目標にこの学園へと入学しました。しかし入学後の数ヶ月間、私は不安ばかりを抱えていました。人見知りの私はクラスに友達ができず、クラスがダメなら!と心の拠り所にしようとした部活も先輩方と一貫の同級生&後輩たちとの圧倒的な経験の差に心を折られて孤立し、これから先この学園で私は生きていけるのだろうか、こんなところで壁にぶつかっては目標に届かずに終わってしまうのではないかと苦悩していました。しかし、今では良い友人、仲間と出会ってあの頃とは比べものにならない程に笑顔で日々を過ごせるようになりました。そして、そんな日々の中で私は学んだことがありました。それは「人前に立つ楽しさ」です。私は演劇部に所属しており、初めて舞台に立つて役をやり切った時の感動は今でも忘れられません。また、緑風塾の発表ではトラブルに見舞われながらも発表をやりきり、投票では一位を取ることができました。

これらの経験は全て素晴らしい仲間がいてくれたからこそそのものです。中学時代は人前で立つことなど苦手でした。私に、彼らは様々のことを教えてくれました。大丈夫だと背中を押してくれて、辛い時は励ましてくれて、一つのものを作り上げるために精一杯協力してくれて…本当に感謝でいっぱいです。そして、私は学んだことから一つの目標を定めることができました。その目標を胸に今後は日々を歩んで行きたいですし、来年はかつて不安に駆られていた私のような子がいたら励まして背中を押してあげられる先輩になれたらいいと思います。(12組 山崎凜桜 静岡市立竜爪中)



部活動

インターハイではシングルで初戦敗退、団体も去年よりワンランクダウン…全国トップレベルとの差を痛感させられ、悔いの残る大会となった。そこで、自分の私生活や練習を変え、改めてスタートした。結果、今年1月に開催された全国レベルの合宿で6位になることができた。この結果に満足せず、来年は自分がキャプテンとしてチームを引っ張り、どの種目においても表彰台以上を目標に頑張りたい。(卓球部 溜大河 鹿沼市立西中)

この二年間、小説を書くことを続けてきたおかげで、推理小説や漢文、脚本など、書けるようになりたいジャンルをたくさん見いだすことができた。その結果、自分の小説が評価され、賞もいただき本当に嬉しい。継続できたのは、一緒に活動している部員、先生方の具体的なアドバイスや講座のおかげ。行き詰まった時でも、意欲を維持しつつ高めることができた。勉強と両立し、卒業後も書くことを続けていきたい。(文芸部 山崎琥珀 附属静岡)



九州

今回の修学旅行では、知覧特攻隊の資料館や、長崎の原爆資料館を見学する機会があり、教科書で学ぶのとは違う、そのあまりの凄惨さに言葉が出ないという体験をした。また、班別研修では、予定通り、想像通りに行かないこともあったが、その中で感じられた九州の文化や空気が新鮮で、とても楽しかった。(8組 辻日菜子 清水第四中)

まさに「臨機応変」な修学旅行だった。自由時間が多く設定され、自分たちで計画を練ることができたため、私たちの班は福岡で太宰府天満宮へ行くことに。しかし、予定していたバスは満員で乗れず…すぐにタクシーに乗り換えた。タクシーでの道中では、気前の良い運転手さんからご馳走になったり、地元のお話を聞いたり。行き当たりばつりの出会いを大切にしたいと思える旅になった。(4組 川崎琉夏 附属静岡中)



北海道

植松電機・植松努社長の講演から、やったことのないことをやろうとすれば人間は「必ず失敗する」…失敗は恥ずかしいことではないと気付かされた。人との出会いを大切に、自分の夢を積極的にしゃべり、理解してくれる人を探し、勇気を出して人を頼ってこうと思った。「どーせ無理」という可能性を奪う言葉ではなく、「だったらこうしてみたら」という前向きな言葉と共に前に進んでいける人間になっていきたい。(3組 山崎琥珀 静岡学園中)

自分にもできるだろうと思っていたカーリング。実際にやってみると、氷の上を滑ることは案外難しく、20kgのストーンを投げると距離も回転も思い通りにならない。舐めていたことを反省。最後に行ったミニゲームは白熱した。(3組 松中知佑 静岡学園中)

旭山動物園では、北海道ならではの動物をたくさん見る事が出来た。小樽では、地元で愛されているザンギ(=鳥の唐揚げ)を「なると屋」で食べた。また、色々な所でラーメンを食べたが、どれも違うおいしさがあって大満足。修学旅行を通して、仲間と協力して計画を立て、互いのことを考えて生活する事が出来た。(3組 横山翔英 静岡学園中)



卒業生に聞きました! 祝卒業

3月4日(土)、卒業生の新たな門出を祝福するかのような春の日差しに恵まれた佳き日に、第57期卒業式が行われました。卒業にあたり、静岡学園での3年間について振り返ってもらいました。

- Q1** コロナ禍での高校生活でしたが、簡単に振り返ってみてください。
- Q2** 高校生活の中で一番がんばったことは?
- Q3** 静岡学園の良い所はどこ?
- Q4** 将来の「夢」を教えてください!



鈴木あり紗さん (美和中学校)

- A1** リモートの授業では周りの子とコミュニケーションが取れず、また勉強や部活も自由にできなかったのが不安ばかりでした。3年になってコロナに感染した時、リモートで友達と画面越しに会話した時嬉しくて泣きそうになった。人とのつながりは必要不可欠であると感じました。
- A2** 部活動!辛いことが多かったけど、それを乗り越えて自分の目標を達成できた瞬間は、今まで感じたことのないもので、忘れられないものとなりました。
- A3** 誰に対しても思いやりがある仲間と一つ一つの学校行事に一生懸命取り組めるところ。
- A4** 警察官になって地域の人を守りたい!今までお世話になった人はもちろん、多くの人が犯罪に怯えることなく、みんながそれぞれ理想としている生活を送れるようにしたい。

- A1** 友達と対面して勉強する、実際に会って話をすることがどれだけ大切かということを実感した3年間で。また、卒業式を迎えてその儚さを感じています。

- A2** 生徒会活動です。上手いかなかったこともありましたが、仲間と知恵を出し合い、意見交換をしながら静学祭を企画・運営しました。
- A3** 生徒や先生方、施設、課外活動などバラエティ豊かで、好きな人や好きな事に会える。
- A4** お世話になった先生方に胸を張れる、褒めてもらえる大人になることです(笑)。



近藤颯次郎くん (安東中学校)



杉山月乃さん (清水第一中学校)

- A1** 入学当時の体力では、部活動についていけなかったと思う。6月から部活動開始で良かったです。高校生活をゆっくり始めることができました。今となってはいい思い出です。
- A2** 部活動(陸上部)です!テスト期間、休校期間、お盆休み、元旦ととにかく毎日やってきました。もちろん、雨の日は喜んで練習しました。楽しかった\(^o^)/
- A3** それぞれが伸び伸び成長できる所。勉強をやりたい人もいれば、部活命の人もいるし、高校生活を充実させたい人もいる。それぞれが互いにリスペクトし合って刺激を貰い合ってる。そして応援してくれる先生方や静岡に関わる人たちもいる。全員で静岡学園っていう結束力がある。
- A4** 静岡学園で日本史のトップアスリートになる!(笑)

- A1** 最後の選手権大会で負けてしまったこと。大学でもう一度全国の舞台を目指す!!
- A2** 部活動(サッカー)と勉強の両立。授業中たまに寝ちゃってすみません(笑)。
- A3** 相談しやすい先生が多かった。
- A4** まずは、プロスポーツ選手として生活すること。そしてスポーツの会社を立ち上げる。



林築玖くん (尼崎市立武庫東中学校)



合格体験記 —後輩へのメッセージ—

合格

東北大学理学部化学系
3年5組1番 青木滉明 (清水第七中)

私は、一年生の頃から授業や課題、朝テストには真面目に取り組んでいましたが、柔道部に所属しており、6月頃まで続けていたので、受験勉強を始めたのは夏からでした。他の受験生と比べてスタートが遅れてしまったかもしれませんが、柔道部に所属していたおかげで物事に真剣に取り組む姿勢や根性などが身に付いていたので、他の受験生より有利だったと思います。

日々の学習では、常に自分に足りないことを自分で考え勉強法や内容を変えてきました。特に基礎は大切だと思います。先生の言うことを良く聞いて真面目に取り組むことが合格への一番の近道です。しかし、どんなやり方でも合格したい強い気持ちがあればきっと合格できます。

最後に後輩に「ネバギバ!」

合格

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科
3年2組11番 竹内星純 (静岡学園中)

私から後輩のみなさんにおすすめしたいことは、2つあります。

1つ目は、勉強の長期的な計画と短期的な計画を立てることです。現役生、特に国立志望者は科目数が多く、時間が少ないので、思いついた所からむやみに勉強するのは良くないと思います。また、やるべきことが大量にあることに気付き、危機感が生まれてきます。

2つ目は、勉強時間を記録することです。私は study plus というアプリで記録していました。勉強しない日があると棒グラフが凹むので、継続して勉強できると思います。

私は「こんなに頑張っても、どうせ共通テストで失敗して受験すらできないんだ」と頻りに大泣きしていました。それでも何とか合格できたのは、励ましてくださった先生方やお茶大への強い憧れのおかげだと思います。皆さんも志望校を下げたくなる時があるかもしれませんが、最後まで頑張りたいです。合格に関わらず、必ず成長できると思います。

合格

大阪大学理学部物理学科
3年3組6番 岩本峻乃丞 (静岡学園中)

私は静岡学園で、年上年下に関わらず、部活動や勉強、生活面で自分より優れた色々な人に出会うことができました。そのような人に負けてられないと言う気持ちで、私は受験勉強を頑張りました。後輩の皆さんにも周りを見回して、身近な人の尊敬できるところを見つけて、自分の成長の糧にしてほしいと思います。

受験や勉強でわからないことがあったら積極的に先生に相談しに行きましょう。自分で調べるのも大切ですが、別の視点を与えてくれるでしょう。私は国語が苦手で、国語の先生には本当にお世話になりました。志望校合格に大切なことは、自分は何ができて、それはどうやったら解決でき、残りの時間から考えて何ができるのかを考え実行することだと感じました。当たり前と思うかもしれませんが、当たり前なことは大切だからこそ当たり前になっているのです。できないことをできるようにすることが受験勉強の目的です。これを見失わないように志望校合格を勝ち取ってください。応援しています!

合格

静岡大学グローバル共創科学部グローバル共創科学科
3年4組30番 堀池楓花 (清水小島中)

私が志望校に合格できたのは、学校で様々なことに全力で取り組める環境があったからです。私は運動部に所属し、塾に通っていませんでした。朝テストやSGTの補講の時間をとても大切にしていました。また、志望校をずっと迷っていましたが、SGTへの参加で興味を広げたり、実際の体験からしか学べないものを学び、その経験が志望校の決定や受験の際にも役立ちました。部活引退後は、放課後に友達と勉強し、わからない事があれば、すぐに先生に教えて貰っていました。面接の練習も、多くの先生に手伝って貰い、そのおかげで本番も楽しく臨めました。静学は、先生方のサポートがあり、環境が整っているのを、それを上手く活用していくと良いと思います。

最後に、友達とともに勉強した時間は、受験期にメンタルの維持しながら、モチベーションを高められた大切な時間だったと思います。一人で焦り、不安になるのではなく、先生に相談したり、友達と互いに支え合いながら最後まで頑張ってください。応援しています!

2023年度入試結果報告(現役生+既卒)

2023年4月9日判明分

北海道大 東北大 名古屋大 大阪大
神戸大 九州大2名 静岡大学5名
静岡県立大学4名 など

早稲田大5名 慶応大4名
立教大9名 東京理大9名 など

国公立大学 **67名** 合格

難関私大 **105名** 合格

国公立大学合格 67名

北見工大	3
北海道大	1
室蘭工業大	2
東北大	1
福島大	1
宇都宮大	1
千葉大	1
お茶の水女子大	1
東京学芸大	4
横浜国立大	1
金沢大	1
山梨大	1
信州大	3
静岡大	5

名古屋大	1
名古屋工大	1
三重大	1
京都工芸繊維大	1
大阪大	1
神戸大	1
愛媛大	1
高知大	1
九州大	2
琉球大	2
はこだて未来大	1
青森公立大	1
秋田県立大	1
会津大	1
高崎経大	2

神奈川保健福祉大	1
川崎市立看護大	1
新潟県立大	2
福井県立大	1
山梨県立大	1
都留文科大	1
長野大	1
静岡文化芸術大	1
静岡県立農林職大	1
静岡県立大	4
愛知県立大	1
滋賀県立大	1
大阪公立大	1
兵庫県立大	1
神戸市外国語大	1

島根県立大	1
尾道市立大	1
周南公立大	1
長崎県立	1
私立大合格総計	733名
難関14大+医学科	105名
杏林大(医)	1
帝京大(医)	1
マリアンナ医大(医)	1
愛知医大(医)	1
藤田医大(医)	1
川崎医大(医)	1
青山学院大	3
学習院大	6

慶應義塾大	4
中央大	5
東京理大	9
法政大	14
明治大	6
立教大	9
早稲田大	5
同志社大	6
立命館大	27
関西大	3
関西学院大	2
短大合格	5名
専門学校合格	15名
就職	7名

部活動実績(令和4年度)

静岡学園では現在、運動部、文化部あわせて32の部が活動中。それぞれが各種の大会に出場し、全国にその名が知られています。



「トライアンドエラー」

三年生になる時、僕たちは三つの目標を決めました。「全国中学校サッカー大会優勝」「県のリーグ戦優勝」「高円宮杯U15サッカー選手権大会優勝」の三つです。そのために何ができるかを考え、二つのことを徹底してきました。

一つ目はサッカーノートを書くことです。試合ごとに監督が送ってくれる試合の動画を見ながら、各々、何が足りないか考えて書きました。

二つ目は、その足りないことに、練習後に取り組むことです。自主性をもって取り組むことで、僕たちは成長できたと思います。

まだまだ僕たちには足りないものがたくさんあります。ここで学んだことを活かして、次のステージでも成長を続けます。 中学3年2組 前田一樹



これまで卓球部は、毎年何回もの全国大会に出場をしていますが、インターハイベスト4が最高成績です。団体優勝にまだ届いていません。

シングルスやダブルスなどの個人戦では表彰台に登れていないので、それ以上を目指し、団体戦では優勝を目指してこれからもやっていきたいです。

そのためにはチーム一丸となり選手はもちろん選手以外のサポートメンバーなども積極的な行動をし、いい練習の雰囲気を作っていけたら良いと考えています。

卓球部 2年11組 溜大河



「儂い青春」



写真を撮ると言うことは「今」を残すことだと考えています。カメラを構えファインダーをのぞくと、そこには「今」が映っていますが、シャッターを切った瞬間、それは「過去」になります。かけがえのない時を「かたち」に残すことができる。これが写真の醍醐味だと感じています。その瞬間に思いを込めてシャッターを切る。これからも自分らしい作品を残していきたいと思っています。

写真部 部長 2年4組 松下亜澄

スポーツの部

【陸上競技部】

第75回静岡県高等学校陸上競技選手権大会
男子三段跳4位 35HR桶谷佳弘、
女子5000m競歩3位 34HR杉山月乃、
女子円盤投5位 34HR鈴木あり紗

【男子バレーボール部】

令和4年度 静岡県高等学校新人体育大会
バレーボール競技中部地区予選 第9位

【中学サッカー部】

第53回全国中学校サッカー大会 準優勝

【高校女子テニス部】

第8回東海私立高校テニス大会 一志一 団体第4位

【中高体操部】

2022全国高校総体出場 個人2名出場

【男子バスケットボール部】

高校総体静岡県予選 ベスト8

【高校男子卓球部】

令和4年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会
学校対抗5位
全国高等学校選抜卓球大会 男子学校対抗 第5位
全国高体連卓球専門部春季合宿兼第三次海外派遣
最終選考会 2位 溜大河
ベトナムゴールデンラケット大会及び、
日中韓ジュニア交流大会 派遣内定

【高校女子卓球部】

第70回静岡県高等学校総合体育大会卓球競技 団体戦5位

【剣道部】

令和4年度静岡県中部高等学校新人体育大会剣道競技
男子団体戦:第8位(県大会出場)
女子団体戦:第6位(県大会出場)

【ハンドボール】

令和4年度静岡県高等学校ハンドボール選手権大会
県ベスト4

【高校男子テニス部】

令和4年度静岡県高等学校新人体育大会中部地区大会
ダブルス8位 池谷春輝・傳刀友月ペア

【水泳部】

第70回静岡県高校学校総合体育大会水泳競技
男子4×100mフリーリレー 29位、
男子4×200mフリーリレー 27位、戸塚 直也(23HR)
50m自由形 21位、100m背泳 15位
岩本 絢 (110HR) 200m背泳 出場

【書道部】

岐阜女子大学主催 第21回全国書道展
大学賞1名、奨励賞1名、優秀賞7名
第59回全日本書初め大覧覧会席書の部・公書の部
席書の部: 特選4名、公書の部: 特選1名

【中学卓球部】

JOCジュニアオリンピックカップ
2022年度全日本卓球選手権大会(カデットの部)
14歳以下女子シングルス出場

文化・芸術の部

【写真部】

第40回静岡県高等学校写真コンクール
団体部門 優秀学校賞(県3位)
個人部門 優秀賞 3年 萩野向春 他

【文芸部】

第48回静岡県高校生文芸作品コンクール
優秀賞(小説部門1名)、奨励賞(随筆部門1名)

【百人一首】

第34回静岡県高等学校かるた選手権大会 団体9位

【囲碁将棋部】

第33回 静岡県高等学校将棋新人戦県大会 団体戦 4位

【合唱部】

第33回静岡県ヴォーカルアンサンブルコンテスト
高等学校の部 銅賞

【歴史研究部】

令和4年度高等学校総合文化祭郷土研究専門部研究発表大会
優秀賞

令和4年度運動部活動優秀校

中部地区全日制男子部門において、
静岡高校を僅差で抑え121点で優勝し、
表彰状と優勝旗を授与されました。

同窓会総会を開催して

私が在校していた昭和63年までは、白黒の「孝友」も、今やカラー刷りでかつ好奇心をくすぐられる編集に、時代背景を感じざるを得ません。また校舎が移転したこともあり、校内の雰囲気は全く変わりました。まさに「新静学」ここにあり、です。この移転でご尽力いただいた前校長の石田邦明先生から寄せていただいた「人格という土台の上に真の教養を創造したいものはこの門から入れ」という校舎内への「入口」があります。入門生たちが華々しく巣立ち、早くも10年以上になりました。時の流れの中で、自然にうすれた母校との結びつきが、今も変わらずにあることを改めて実感できたのは、第98回全国高等学校サッカー選手権の優勝ではないでしょうか。校史に残る金字塔を打ち建てたことで、創業者・牧野賢一様銅像の横に記念碑を建立することが決まりました。完成時には改めて一報いたしますので、ぜひ学校にお越しになって直接ご覧になって下さい。その際は、前述の「門」や東京大学小石川植物園から提供され植樹した「ニュートンのリンゴの木」、「メンデルの葡萄の木」、「平瀬作五郎のイチョウの木」の3本の知恵の木もご自身の目で堪能されることを願うばかりです。

ここで、同窓会からの報告事項を述べます。2020(令和2)年4月から新体制でスタートした同窓会は、1期3年間を瞬く間に過ぎました。以下に主な実績を列挙致します。

- ① 同窓会名簿発行:2021(令和3)年8月発行
- ② 2021(令和3)年度 総会:2021(令和3)年10月23日開催
- ③ 2022(令和4)年度 総会:2022(令和4)年10月23日開催
- ④ 同窓会ホームページ:2022(令和4)年10月開設
- ⑤ 各種SNS:2022年(令和4)年10月開設

以上に加え、第98回全国高等学校サッカー選手権の優勝を称えた記念碑建立が、③総会で決定されました。

ほぼ実績ゼロの状態から、ここまで立ち上げるのに献身していただきました校長の鈴木啓之様をはじめとした総務管理部及び同窓教員の皆様、名簿作成に多大なるご協力をいただいた会社サラト様、機動力のある株式会社アロマイメージ様、そしていつも私をサポートして下さった同窓会役員の皆様等に、この場をお借りして改めて感謝を表明したいと思います。

今後、同窓会として、様々な企画を打ち立て、現役生、教職員の皆様、卒業生との関わり合いの場を設けていきたいと思っております。withコロナという環境下でも、柔軟に対応することで、「変化に対応して生き残る」新世代を共感しながら集い合いたいと考えております。まずは、同窓会役員が色々な仕掛けをご用意いたします。その上で、現役生、教職員、卒業生の皆様からもアイデアや企画があれば、ご意見をいただきたく存じます。『Stay Hungry! Stay Foolish!』のごとく個性があふれた尖がったOBOGコンテンツにしていきたいです。皆様一人ひとりのご協力をお願いします!!

最後に、継続して静学の門下生一同の飛躍を図り、東鷹匠の地で根を張った、有為な青年を輩出する学校へ、益々の発展を祈願して本誌へ寄せるものとさせていただきます。

静岡学園中学・高等学校 同窓会 会長 **橋本 泰志** S63年度卒(23期)

令和4年度をもって橋本会長は一期3年を満了しましたが、年度末の役員会において再任され、二期目がスタートすることになりました。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

会長	橋本 泰志	第23期(昭和63年度)卒業生	会計	八木 香澄	第33期(平成10年度)
副会長	山崎 朝彦	第30期(平成7年度)	幹事	石井 俊輝	第15期(昭和55年度)
	青木 紀之	第29期(平成6年度)		古川 賢吾	第30期(平成7年度)
	古藤田訓昭	第34期(平成11年度)	名誉会長	鈴木 啓之	第30期(平成7年度)

予告 次回の同窓会総会は令和5年10月22日(日)午後 体育館にて行います。

